

授業科目 日常生活活動学実習II (生活技術代償法)

【担当教員名】 今 西 里 佳		対象学年	3	対象学科	作業
		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：GIO】 生活動作や行動に支障をきたした対象者の障害を軽減させるための代償法について、基本的知識および技法について学習する。障害者の機能を評価し、適切な福祉用具、装具を選択し、実際の作成技法について学習する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 福祉用具それぞれの種類を大別し、その名称を述べることができる。 2. 主要な疾患のADLを評価することができる。 3. ADL評価に基づき、治療計画を立てることができる。 4. 主要な疾患ごとに、ADLの特徴を述べることができる。 5. 簡単な福祉用具を作成することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	装具・福祉用具概論・歴史			1	実習
2	イレクター実習			5	実習
3	家屋改造			2	実習
4	SHD作成			5	実習
5	脊髄損傷のADL			4	実習
6	脊髄損傷のADL評価			2	実習
7	脊髄損傷のADL治療			3	実習
8	脳血管障害のADL			4	実習
9	脳血管障害のADL評価			2	実習
10	脳血管障害のADL治療			3	実習
11	脳血管障害のADLのフォロー			3	実習
12	RAのADL			2・3	実習
13	パーキンソン病のADL			2・3	実習
14	ataxiaのADLの特徴			2・3	実習
15	まとめ				実習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	片麻痺能力回復と自立達成の技術		生田宗博	三輪書店	2008・5,460円
	ADLとその周辺 第2版		伊藤利之、鎌倉矩子	医学書院	2008・6,300円
	義肢装具学 第3版		川村次郎、竹内孝仁	医学書院	2004・7,000円
参考書	ADL 第2版－作業療法の戦略・戦術・技術		生田宗博	三輪書店	2005・4,725円
	バリアフリーの生活環境論 第3版		野村みどり	医歯薬出版	2004・6,800円
その他の資料					
【評価方法】 (1)出席2/3以上 (2)期末試験60点以上 (1)でかつ(2)の場合合格とする			【履修上の留意点】		